

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和1年7月26日

計画の名称	26 活力創出交流基盤整備計画		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)	交付対象	新潟県、長岡市
計画の目標			

長岡市では「都市の活力と魅力にあふれ、安全・安心で住みよいまちの実現」に向け、活力を創出する交流基盤の充実したまちづくりに取り組んでいる。そのために、広域的な都市間の交流・連携を促進させ、長岡市の求心力や競争力を高めるため、高速交通体系と有機的に結ばれた広域幹線道路網を構築することを目指す。あわせて、安全で快適な市民生活を確保するため、道路の維持管理や安全対策に努めるとともに、雪国の特性に配慮した環境整備を行うことにより、住みよいまちの持続的発展、さらには各地域の特色を活かした賑わいのあるまちの創造を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・信濃川橋梁部における走行速度を向上する。
- ・必要な道路ネットワークを確保するために、未整備区間等の道路整備を推進する。
- ・道路整備に伴い増加する道路延長に対し、冬期除雪による管理水準を維持する。
- ・安全で効果的な道路整備を推進し、道路延長に対する市道における事故発生件数の割合を減少させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

①	②	②	②	定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)				
①	長岡市内の信濃川橋梁（与板橋～越路橋）の通勤時間帯における走行速度の平均値	26.9km/h	-	32.3km/h						
②	現況の市道実延長に対する計画最終時の実延長の割合	100%	-	101%						
②	市道の実延長に対する除雪延長の割合	58.1%	-	58.1%						
②	市道の実延長に対する市道における交通事故件数の割合	13.8%	-	9.1%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,644 百万円	A	4,241 百万円	B	0 百万円	C	403 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	8.7%

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
長岡市において評価を実施	-
公表の方法	長岡市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 地方道路整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
26-A1	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(1) 栃尾山田土ヶ谷本津川線	道路改良 L=1.1km	長岡市						212	
26-A2	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(他) 日越51号線ほか	道路改良 L=1.2km	長岡市						338	
26-A3	道路	雪寒	長岡市	直接	-	市町村道	除雪	(1) 東幹線1号線ほか	除雪L=689.8km・春先除雪	長岡市						1,461	
26-A4	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(他) 寺泊90号線	駐車場 A=1,600㎡	長岡市						78	
26-A5	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(他) 日越52号線ほか	道路改良 L=0.3km	長岡市						66	
26-A6	街路	一般	新潟県	間接	上条高畑土地区画整理組合	区画	改築	上条高畑土地区画整理事業（(都)上条町前田線外)	区画整理 A=33.4ha	長岡市						1,330	
26-A7	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(2) 東幹線84号線	道路改良 L=0.2km	長岡市						42	
26-A9	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(他) 日越64号線ほか	道路改良 L=0.3km	長岡市						274	
26-A10	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(1) 東幹線21号線ほか	道路改良 L=0.2km	長岡市						86	
26-A11	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(1) 越路817号線	道路改良 L=1.7km	長岡市						189	
26-A12	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	交安	(他) 上川西312号線ほか	バス停留所設置 N=5箇所	長岡市						16	
26-A13	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(他) 788号線	道路改良 L=0.08km	長岡市						19	
26-A14	道路	一般	長岡市	直接	-	市町村道	改築	(1) 東幹線78号線ほか	道路改良 L=0.4km	長岡市						130	
小計(道路事業)											4,241						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
合計											0						

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
26-C1	道路	一般	長岡市	直接		駐車場	押切駅パークアンドライド駐車場整備事業	駐車場整備 A=1,650㎡	長岡市						56	
26-C2	道路	一般	長岡市	直接		バス停	バス停留所整備事業	バス停上屋 N=8箇所	長岡市						47	
26-C3	道路	一般	長岡市	直接		車両購入	高機能化 (救急救命仕様) 救急車購入事業	救急車購入 N=1台	長岡市						33	緊急消防援助隊に関する政令 §6
26-C4	道路	一般	長岡市	間接	町内会等	施設整備支援	長岡市防犯灯設置補助事業 (通学路以外)	防犯灯設置補助 N=651基	長岡市						17	
26-C6	道路	雪寒	長岡市	直接		除雪	春先除雪	除雪 L=689.8km	長岡市						9	
26-C7	道路	雪寒	長岡市	間接	町内会等	効果促進	長岡市消雪施設設置補助	整備延長 L=10km	長岡市						241	
合計													403			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
26-C1	(他) 中之島64号線の道路整備と併せて、交通結節点機能の向上が期待されるとともに、沿道環境の改善を図るため、押切駅パークアンドライド駐車場を整備する。											
26-C2	(他) 日越51号線ほか等の道路整備とあわせて、バス停留所の上屋を整備することにより、安心な住みよい地域形成を図るとともに、バスへの交通手段の転換による交通混雑の緩和を図る。											
26-C3	(他) 日越51号線ほか等の道路整備とあわせて、高機能化 (救急救命仕様) 救急車を購入し、安全・安心な住みよい地域形成を図る。											
26-C4	(他) 日越51号線ほか等の道路整備とあわせて、町内会が設置する通学路以外の防犯灯に補助することで、交通安全・防犯対策を強化する。											
26-C6	(1) 東幹線1号線ほか等の道路整備とあわせて、春先に交通障害を取り除き、市民の安全・安心な道路交通の確保を図る。											
26-C7	(1) 東幹線1号線ほか等の道路の機械除雪とあわせて、道路消雪施設の設置補助を実施し、冬期間の道路の安全かつ円滑な交通の確保を図る。											

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 日越51号線 (左岸バイパス) の整備や拡幅改良により、道路ネットワークが強化されたことによる交通分散化、及び、パークアンドライド駐車場整備やバス停整備により公共交通への利用転換が促進されたことにより、移動の円滑化及び主要渋滞箇所の渋滞が緩和した。 区画整理事業、幹線道路などの必要な道路ネットワークが確保されたことにより、市民生活の快適性や利便性が向上した。 機械除雪と消雪パイプを効果的に組み合わせて除雪を行うことで、冬期間の安全で安心な道路交通が確保された。 交差点改良、歩道整備、パークアンドライド駐車場整備及びバス停整備等、公共交通の利用促進により、渋滞の緩和や交通事故件数の減少に寄与した。 				
II 定量的指標の達成状況	指標① (通勤時間帯における走行速度の平均値)	最終目標値	32.3km/h	目標値と実績値に差が出た要因	長岡北スマートインターチェンジの整備や商業施設・業務施設の立地等により、東西交通が活発化し、信濃川橋りょうの交通量が増加したことが大きな要因となり、目標値に到達しなかった。しかし、日越51号線 (左岸バイパス) 等の整備により信濃川を渡河する交通が分散され、橋りょう部の旅行速度が向上した。	
		最終実績値	30.4km/h			
	指標② (市道の道路整備延長の割合)	最終目標値	101%	目標値と実績値に差が出た要因		-
		最終実績値	101%			
	指標③ (市道の実延長に対する除雪延長の割合)	最終目標値	58.1%	目標値と実績値に差が出た要因		道路整備により増加した道路延長に対し、地域の実情に合わせた除雪を効果的に行って冬期の安全で円滑な交通の確保に努めた結果、実績値が目標値を上回った。
		最終実績値	59.4%			
	指標④ (市道における交通事故件数の割合)	最終目標値	9.1%	目標値と実績値に差が出た要因		交差点改良や歩道整備、公共交通への利用促進事業などの交通安全対策を実施したほか、市単独事業においても交通安全対策を進めたことで、道路交通の安全性が向上し実績値が目標値を上回った。
		最終実績値	6.2%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						
3. 特記事項 (今後の方針等)						
<ul style="list-style-type: none"> 事業継続中の箇所の計画的・効率的な事業の推進に加え、各地域の生活を支える重要な役割を担う道路を計画的に整備し、さらなる道路ネットワーク強化を図る。 信濃川橋梁部や、長岡北スマートインターチェンジ周辺など、交通需要が見込まれる路線の渋滞対策を継続して実施する。 社会情勢に応じた除雪体制の確立・維持に向けた取り組み (包括的管理委託、オペレーター育成、IT化) や、消雪パイプ設置への支援を継続して行う。 						